



- ・徳島ICT活用モデルの推進
- ・東祖谷小中学校の校務実践
- ・タイピングスキルの育成

みんなで進めるICT活用 授業改善の新しい一歩

徳島県GIGAスクール構想推進本部では、令和7年度の推進目標として、各校における「徳島ICT活用モデル」のM段階の事例研究・創出を掲げています。

SAMR (セイマー) とは、ICT活用が授業に与える影響を4段階で示したモデルです。この指標を共有することで、

・自分たちが現在どの段階にあるのか ・次にどのようなステップを踏めばよいのか
が明確になり、学校全体で目標をそろえて授業改善を進めることができると言われています。

6月の調査では、
「M段階に該当する事例が
校内で見られる」と回答した
学校は、**小学校で約73%、
中学校で約70%**でした。



M段階とは、ICTの導入によって授業そのもののスタイルが転換する段階です。
教師が「使わせる」のではなく、子供自身が学びを主体的にデザインし、教師は伴走者・支援者として関わります。

【図】STEPごとの教師の関わり方のイメージ (自転車の練習を例に)



STEP 1

ICTを始めた子供を、教師がそばで支えながら基本を教える。

補助輪付きの自転車を保護者が支えて走るイメージ。



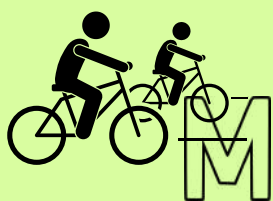
STEP 2

ある程度使えるようになり、自分で操作を繰り返す。教師は横で見守る。

補助輪を外して自分の力でこぐ練習。



A: 撮影した写真に良い点や改善点を書き込む。
「映像への直接書き込み」が可能に。



STEP 3

習得した使い方をもとに、自分で活用方法を考え実践する。教師は伴走する。

行き先を自分で決める。友達と一緒に目的地へ走る。



M: 動画をみんなで共有し、友達の試技を参考に練習。
教師は児童間の交流を促す。

子供が主語となる学びへ!!

視点: ① 子供が、単元 (本時のゴール) を理解し、自分ごととして課題に取り組んでいる。

② 子供が、課題解決の方法を選択できる物的・空間的環境が整備されている。

③ 子供が、自己調整力を働かせ、主体的に学ぶためにICTツールが活用されている。

子供が主語になる学びは、
発達や学び方の習熟段階に
よって異なります。発達段階
に応じて、**教えるべきところ
は教える場面**も単元計画に
位置づける必要があります。

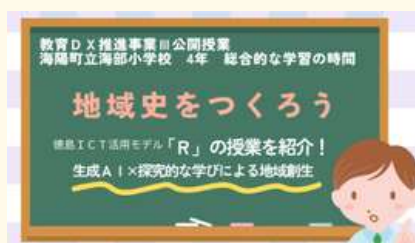
出典: 戸田市教育委員会「指導の重点・主な施策」PDF資料より <https://www.toda-c.ed.jp/soshiki/10/sidou-zyuten.html>

R

R段階とは、ICTを活用し、周囲に影響を与えたり、社会課題を解決したりする段階です。

海部小学校4年生の総合学習「生成A1×探究的な学びによる地域創生」の公開授業動画です。R事例の参考に御覧ください。

▶ すだちくんStudx <https://edtech.tokushima-ec.ed.jp/sudachikunstudx>



これまでの業務を単にデジタルに置き換えるだけでは、「ICT担当の負担増」「紙との二重作業」などの課題が生じるおそれがあります。そのため、**どの業務をどうデジタル化するかを学校全体で検討し、効率化や教職員間のコミュニケーションの活性化、子供と向き合う時間の確保**など、デジタル化の目的を明確にすることが大切です。



ICT担当だけに任せず、教員同士が意見を交わす。
業務の見直しと情報共有を通じて、
無理のないデジタル化を学校全体で推進中！

県域アカウント Google Workspace 東祖谷小中 活用事例

Google チャット 職員間のリアルタイム連絡

職員室に戻らなくても、教室や出先から全教職員へ一斉に情報共有。迅速な意思疎通により、全員が足並みをそろえやすくなりました。

Google ドキュメント ペーパーレスな資料共有

周知は「閲覧」、話し合いながら文書を修正していくときは「共同編集」。目的に応じて使い分けることで、会議がよりスムーズになりました。

Google キープ 共有「やることリスト」

卒業式の会場準備など、教員と生徒でタスクを共有。チェックボックスによって進捗が分かりやすくなり、抜け漏れを防げます。

Google スプレッドシート 共同編集で週計画を作成

各教員が出張予定などを直接入力。関数により授業時数を自動算出し、教育課程のマネジメントを効率化しています。

Google ドライブ 写真や動画を一元管理

行事の写真などを、全職員がアクセス可能な共有フォルダで管理。誰でも簡単に追加・編集でき、整理も容易になりました。

Google クラスルーム クラス運営の中心ツール

日々の連絡を配信したり、フォームを使って生徒からの質問や相談を受け付け。先生と生徒をつなぐ場として活用できます。

具体的なイメージやツールの使い方はこちらから

Youtube【奈良市動画チャンネル】クラウドを活用した新しい職員室の風景（8分40秒）

<https://www.youtube.com/watch?v=JeFKi34VvGI>

Google や Microsoft で、すぐに使える便利なテンプレートが多数そろっています。

[全国の学校における働き方改革事例集\(令和5年3月改訂版\)](#)

タイピングスキルを含む「情報活用能力」の育成

文部科学省は、令和8年に小5で **40** 字／分、中2で **60** 字／分を指標としています。

出典 デジタル学習基盤特別委員会(第3回) 教育DXに係るKPIの方向性等について

小学校の早い段階から文字入力の指導を

出典：文部科学省「情報活用能力のためのアイデア集」

子供たちのつづやき

「考えはあるのに、ローマ字が分からなくて打てない…」
「タイピングが遅くて、発表資料が途中で終わった…」

タイピングへの入り口

1年生：ログインID入力→アルファベットフラッシュ教材
2年生：毎朝Googleクラスルームに先生が「手紙」を投稿
→児童が返信「伝えたい思いを言葉にできてやる気に！」

先進校の取り組み例

- 🕒 すき間時間・家庭学習で「毎日ちょっと」
- 🏆 校長先生からの“特別な賞状”が子供を動かす
- 🔑 ショートカットキーの習得もあわせて促進

タイピング学習、ここが大事！

- ・ 毎回ホームポジションを意識して入力
- ・ まずは、正しく打つことを大切に

ショートカットキーの基本
Ctrl+C → コピー
Ctrl+V → 貼り付け
Ctrl+Z → 元に戻す
Ctrl+A → すべて選択



ローマ字入力の習熟は、
単に文字を打つ速さにとどまらず、
情報収集や表現スピードを高めます。

教室でも家庭でも活用できるタイピング教材

🐾 らっこたん <https://rakkotan.com/>

- ・ タッチタイピング習得機能に加えて
すき間時間で情報モラル・セキュリティの習得も！

🌐 NHK for School「アオとキイのSDGsタイピング」
<https://www.nhk.or.jp/school/typing-sdgs/>

- ・ 1回60秒のタイピングで、SDGsへの関心も高める教材！